

「活動展開例の構成」

本指導資料集では、英語活動（一単位時間）の基本的な展開を、次のような3段階で構成しています。

「2 紹介に関する表現」 Step3の「4 展開」より

学習過程	児童の活動	教師の活動	留意点
1 あいさつをしよう			〇CE (p. 85) 参照
2 英語で身近な人を言ってみよう	〇身近な人の絵を見て、教師の後に続けて言う。 「身近な人に関する言葉」 mother, father, sister, brother, grandmother, grandfather, baby など	〇身近な人を表す単語を絵カードを見せながら発音する。	〇チャンツで何度も繰り返し発音させる。
3 英語で身近な人を紹介しよう	〇身近な人を紹介する会話文を教師の後に続けて言う。 This is my sister, Yuko. This is my brother, Shin. 〇教師や友達と役割分担を決めて練習する。	〇身近な人を紹介する仕方を発音する。	〇2人で会話練習を行うときは、相手の目を見て行うようにさせる。
4 ゲームをしよう	〇「家族集めゲーム」を行う。 (ゲーム集参照) This is my ○○, △△. This is my ○○, △△.	〇ルールを説明して、楽しくゲームをさせる。	〇デモンストレーションで内容を把握させる。
5 会話を発表しよう	〇学習した会話文を発表する。	〇自分で選んだ単語を使って、会話文を完成させることを伝える。	〇児童の頑張りやよかったところを賞賛する。
6 あいさつをしよう			〇CE (p. 85) 参照

< **ふれる** >
本時で用いる単語や対話のモデルを提示することで、英語の音や基本表現に触れさせます。

< **つかう** >
ゲームなどを通して、体を動かし、自然に英語が出てくるような活動を仕組みます。
活動の目的を明確にし、時間を有効に使い、子どもたち全員が英語を聞いたり、使ったりする場面を作りましょう。

< **あらわす** >
英語を用いての会話や創作活動を仕組みます。
「ゲームが楽しかった」で終わらせないために、実際に英語を使った活動を体験させましょう。

コラム 「チャンツ (Chants) とは何だろう？」

チャンツは英語が持っているリズムを生かし、リズムカルに英語を発音する活動です。英語が持つリズム、イントネーション、ストレス（強勢）といった音声に楽しく慣れ親しむことができます。

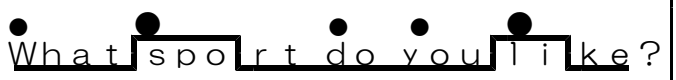
< 日本語のリズム >

日本語は平板なリズムで、言葉の重要度にかかわらず一つの語の長さは同じです。音節拍リズムと言います。



< 英語のリズム >

英語は強弱のイントネーションとリズムで、大切な音は長く、それ以外は短く速く発音します。強く発音するところにリズムができます。強勢拍リズムと言います。手拍子やリズムマシンに合わせて●の部分



●の部分強く、長くリズムに乗って発音します。